

■ 短期大学部 ライフデザイン総合学科

<p>教育研究上の目的</p>
<p>短期大学部学則第1条（目的） 本大学は、教育基本法及び学校教育法並びに本学の設立趣意書に基づき、高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材を養成することを目的とする。</p>
<p>短期大学部学則第2条の2 前条の学科における教育研究上の目的は、第1条に基づき、教員個々が自発的にその専門とする分野の学識、技能を高め、それらを次の各号に掲げるとおり、教育及び社会に還元することにある。 (1) 自分らしい生き方や職業について主体的に考え、自分らしさを表現し、自分の考える自らの将来像の具現化を図ることのできる能力や教養を養成する。 (2) 日本と国際社会を基盤に自らの文化や生活を見つめ、人とコミュニケーションのできる個性や能力を養成する。 (3) 健康で自立的な社会人・職業人やライフデザインについて理解を深め、受動的な消費生活からの脱却をめざす意識や実行力を養成する。 (4) 生涯にわたって学ぶことの意義や豊かさを自覚しつづけられる意識を養成する。これを通じて、地域文化やコミュニティの向上発展をめざした生涯学習社会の実現に貢献する。</p>
<p>学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）</p>
<p>短期大学部ライフデザイン総合学科では、短期大学部学則第2条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿って、所定の単位を修得し、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「短期大学士（ライフデザイン総合）」の学位を授与します。</p>
<p>（知識・技能）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本と国際社会を基盤に自らの文化・生活に関心を持ち、理解している。 2. 自立した女性としてのライフデザインについて理解している。
<p>（思考力・判断力・表現力）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人とコミュニケーションのできる能力を身につけている。 2. 社会に起きる様々な問題を論理的に思考・表現できる。
<p>（主体性・多様性・協働性）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分らしい生き方や職業について主体的に考えることができる。 2. 自らの将来像の実現を図ろうとすることができる。 3. 生涯にわたって学ぶことの意義を自覚し、地域社会の向上発展に貢献できる。
<p>教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）</p>
<p>短期大学部ライフデザイン総合学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、全学部共通で示す教育課程の編成・実施方針を参考としつつ、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。</p>
<p>（教育内容）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学における学習・研究に必要な基礎的能力を養成するため、ベーシックフィールド科目を配置し、以下のエリア科目から選択履修する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 少人数で口頭発表や議論を行い、大学での学習方法を身につけるゼミナールエリア科目。 (2) 多様な科目構成により、学生の学習・研究を各自の目的にもとづいた選択によって発展、展開するため教養エリア科目。 (3) 外国語の運用能力を高め、異文化理解を促進する外国語エリア科目。 2. 多彩な授業科目に触れる中で徐々に自分の将来を決定していけるセレクトフィールド科目を配置し、学生自身の興味に合わせて、以下のエリアから主たるエリアを選択する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本文化エリア (2) 英語コミュニケーションエリア (3) オフィスエリア (4) 情報エリア (5) 心理・社会エリア 3. 海外セミナー、資格取得など、正課カリキュラム以外の学びを柔軟にサポートする、特別フィールド科目を配置する。 4. 必修の「卒業研究」では、自ら関心の高いテーマを設定し、その成果の主題設定能力、問題分析能力、問題提起能力、プレゼンテーション能力、表現力を育成する。
<p>（教育方法）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の主体的学修を支援できるよう、アクティブ・ラーニング等の教授手法を積極的に取り入れる。 2. ゼミナールエリアでは少人数で口頭発表や議論を行い、レポートや論文作成に発展させていく。 3. 交換留学や国内外での課外活動・フィールドワークを奨励する。

愛知大学 3つのポリシー（2024年度以降）

4. 外国語教育を促進するため、英語圏短期研修の充実促進、外部の英語テストの受験奨励など、様々な支援を実施する。

（学修成果の評価）

短期大学部ライフデザイン総合学科では、本学における学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。

1. 教育課程（メソ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、GPA分布（年度毎、通算）、留年率、卒業論文の成果評価割合等により行う。
2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行う。

入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

短期大学部ライフデザイン総合学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 豊かな教養を求め、自国のことばや文化に関心の高い人。
- (2) 英語をはじめとする外国語の習得に強い意欲をもち、異文化理解に興味のある人
- (3) 社会人・職業人になることを積極的に考え、それに向かって努力できる人。
- (4) 人と人、人と社会の関係などに問題意識をもち、自ら成長したいと思っている人。
- (5) 高校時代までにサークル活動、ボランティア活動等に熱中したことがあり、その経験を語れる人

2. 入学前までに修得すべき能力

（知識・技能）

- (1) さまざまな科目を広く学んだ基礎学力。
- (2) 日本語による会話・コミュニケーション能力。

（思考力・判断力・表現力）

- (1) 論理的思考力、的確な主張、文章の表現力。

（主体性・多様性・協働性）

- (1) 豊かな経験に基づく学習意欲。

3. 選抜方法

(1) 一般選抜

基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、国語・英語を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。

(2) 総合型選抜

出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。

(3) 学校推薦型選抜

調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。